

# 第48回 支店長のわがまち紹介

## 千葉県松戸市

歴史が息づく人にやさしいまち、やさシティ、まつど。

江戸川からみた松戸市街 (写真提供※松戸市)

筑波銀行は地域金融機関として、地域の皆さまとの密接な繋がりを持たせていただいております。「支店長のわがまち紹介」は、筑波銀行の支店長がゆかりのある市町村をご紹介させていただくコーナーです。第48回は千葉県松戸市です。松戸支店長が松戸市長本郷谷健次氏、松戸市戸定歴史館館長齊藤洋一氏にお話を伺いました。

### ●松戸市が自慢できることをお聞かせください。

#### ■都内に近く、自然と歴史が豊かな「やさしいまち」

松戸市は、市内に6路線23ヵ所の駅があり都心から約20km、電車で約30分の距離に位置しています。主要駅への交通アクセスに優れているため、江戸川を挟んで東京都や埼玉県と隣接し、首都圏の住宅都市として発展を続けています。

都心に近いまちでありながら、市内には美しい緑で癒される場所が多くあります。特に「21世紀の森と広場」は東京ドーム11個分もの広さを持つ公園で、多くの市民に親しまれています。

また、市内には江戸時代の宿場町の面影を残す場所が各所にあり、歴史や文化が大切に受け継がれています。松戸駅からほど近い場所には、徳川15代将軍慶喜公の弟・昭武公が建てた私邸「戸定邸（とじょうてい）」があります。戸定邸は国の重要文化財に、庭園は国の名勝に指定されています。国内現存最古の洋風庭園は訪れる人々を魅了しています。



戸定邸 (写真提供：松戸市)

松戸市は農業も盛んで、農薬の使用を極力少なくする、環境にやさしい農業に取り組んでいます。「二十世紀梨」の発祥地として知られ、市内には50以上の観光梨園があります。また、全国有数のねぎの生産地でもあり、太くて甘い「矢切ねぎ」や香りや食感が特徴の「あじさいねぎ」など質の高い農作物が収穫されています。



梨の栽培風景 (写真提供：松戸市)

#### ■「やさシティ、まつど。」

松戸市は魅力的な人が多く、人とのつながりが感じられるやさしいまちであり、市は「やさシティ、まつど。」をスローガンに、市民が「やさしい」暮らしやすいと感じるまちづくりを推進しています。

子育て支援としては、初めて赤ちゃんが生まれるご家族を対象に「ママパパ学級」を開催し、妊娠期間をサポートしています。また、生後4カ月までの赤ちゃんがいる全家庭を対象に助産師・保健師が訪問し、健康診断などを行っています。



松戸市長  
本郷谷健次氏

戸定歴史館館長  
齊藤 洋一氏

松戸支店長  
関 雅彦

市内には「おやこDE広場」などの乳幼児と保護者が一緒に利用できる遊び場を23カ所整備しており、母親が子育ての悩みを子育てコーディネーターに気軽に相談できる体制を整えています。

また、市内には保育所、認定こども園、小規模保育施設、幼稚園も充実しており、平成29年4月時点で2年連続待機児童ゼロ(国基準)を達成しています。

小児医療に関しては、「松戸市夜間小児急病センター」が365日夜間診療に対応しているため、子どもが急に発熱しても安心して受診することができます。

また、平成28年「共働き子育てしやすい街ランキング～地方編～」(日経DUAL調査)では、松戸市は全国5位となるなど、高評価をいただいています。

松戸市の人口は、東日本大震災などで一時的に減少したものの、その後は継続して増加傾向にあります。これは「やさシティ、まつど。」というメッセージが人々に伝わった結果ではないかと感じています。

### ■「暮らしの芸術都市」として世界へ発信

松戸市は、「日常生活の営みそのものが文化や芸術である」と捉え、「暮らしの芸術都市」として日常の豊かな表現を創造し発信するさまざまな試みを行っています。

その1つに、海外の芸術家を招待し、市民との交流を通じて松戸市でしかできない作品を制作する「PARADISE AIR (パラダイスエア)」があります。これは新たな切り口による外部の視点を通してまちの可能性を広げていくプログラムで、平成28年度は43組の芸術家などが松戸市で作品を制作・発表しました。



ZEDZ(オランダ出身、イタリア在住)による西口公園の壁画  
(写真提供：松戸市)

### ●今後の展望についてお聞かせください。

#### ■健康医療都市まつど

松戸市は高度な医療を担う総合病院が多く、質の高い医療を提供しています。そのひとつである松戸市立病院は今年12月に「松戸市立総合医療センター」と改称し、移転開院します。引き続き地域の中核的な病院として、将来にわたり市民に安全・安心かつ高度な医療を提供していきます。

#### まっど健康マイレージ



健康松戸21 マスコット  
キャラクター「けあら」  
(提供：松戸市)

また、その他の健康医療施策として、平成28年度より、20歳以上の市内在住・在勤・在学者を対象とした「まつど健康マイレージ」をスタートしています。

これは各種健(検)診や健康に関するイベントなどに参加することでマイル(ポイント)を貯め、健康と特典をゲットする

取り組みで、多くの市内企業や団体からも応援をいただいています。今後もこのような取り組みを通して、市民がさらに健康に暮らせるまちを目指していきます。

#### ■市民が誇れるまちへ

松戸市は今後予定されている松戸駅周辺地区の開発、「松戸インターチェンジ」の開設などさらなる利便性の向上で、市外から多くの人やモノが流入することが期待されます。事業を進める中で、市の潜在能力を最大限に引き出すために、行政と市民が協力し合い、市の未来に貢献できるように邁進します。

また、受け継がれてきた歴史や文化を大切にするとともに、コンテンツ産業を志す若者を対象としたイベントの開催や異業種間の連携など、新しい事業への挑戦を続け、魅力的で市民が誇りを持てるまちを目指していきたいと思います。

### ●筑波銀行に期待することをお聞かせください。

松戸市の最大の資源は「人」です。夢を描きながら、市内でさまざまな活動をする人達の活躍の場が広がるよう、ご支援をいただきたいと思います。

まちの課題解決や成長・発展は、行政だけで成し遂げられるものではありません。市民一人ひとりが考え行動することも重要です。そのため、例えば市外で貴重な経験を重ね、そのノウハウを地元で活かしたいと松戸市に戻られた働き盛りの世代や、新たな挑戦を市内で始めたいと考えている人達に、空き店舗を活用した新規事業立ち上げなどにおいて、助言や融資の支援をしてほしいと思っています。

今後も銀行とさまざまな部分で連携し、これまでの既成概念にとらわれない活動の広がりが持てることを期待しています。